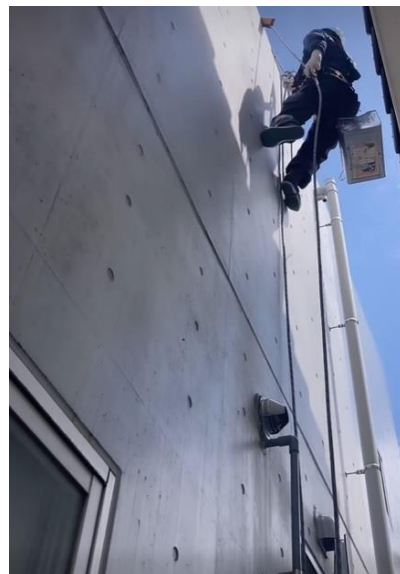




- 1 外壁洗浄と補修の合わせ技！
- 2 **羅針盤** 苦言と助言こそ宝
- 4 『Air 鉋』は空気の魔法！
- 5 躍進が考える企業の危機管理 ⑤
- 7 大掃除を考える

外壁洗浄と補修の合わせ技！



前回ご案内した建物の美観復活に、雨漏り調査・補修の合わせ技をもって、お家の外壁を新築時の状態にいたしましょう！外壁洗浄による美観の回復は時間もコストもかからず工期も軒高 9m までなら 1 日で完了し、足場を組むこともないため費用も平米単価 850 円からとなっています。

その工法は非常に建物に優しいものです。伸縮ポールを使っでの作業（**写真中参照**）であり、外壁に負担・ダメージの少ない低圧施工となっております。使用薬剤も次亜塩素酸ナトリウム、界面活性剤等で済みます。

また躍進の真骨頂ともいえる雨漏り調査・補修作業（**写真右参照**）ではお隣との隙間が狭く足場が立てられない場合、屋上からのロープによる、いわゆる「ブランコマン」の出動で完璧な補修作業を実施いたします。

外壁洗浄・補修は建物健康診断・治療のようなものです。お見積もりは無料です。ご注文、お問い合わせは躍進までお気軽にご連絡ください。

苦言と助言こそ宝

笠井輝夫

(株)躍進代表取締役会長



羅針盤

愛情のある憎まれ役

あえて憎まれ役になることは誰もが嫌なものです。しかし愛情があれば苦言も助言もできるものです。それはその人にとって何物にも代えがたい宝になるからです。

昭和の名作テレビドラマ『スクール☆ウォーズ』では、ラグビー部の顧問である山下真司さんが演じる熱血教師が、話にならないほどのひどい負け方をしてもなんとも思わない部員に対して、涙を流しながら「お前ら、悔しくないのか!」と一括します。

それに反応した部員たちが堪えていた涙を流しながら「悔しいです!」と堰を切ったように口々に連呼するのです。そして顧問である教師は、「俺はこれからお前たちを1発ずつ殴る。歯を食いしばれ!」と言い、拳に涙をこぼしながら喝を入れるのです。ドラマ史に残る名シーンです。

しかしこんなことを令和の現在で行おうものなら、パワハラを通り越して傷害事件になってしまうでしょう(笑)。それでも愛情が根底にあれば決して憎まれません。もちろん体罰は厳禁ですが、愛情のある憎まれ役というものは、組織の中でなくてはならない存在なのです。

苦言と苦情は違う

「良薬は口に苦し」ということわざがあるとおり、苦言とは非常に耳が痛く、それでいて的を射ているため正しいので、渋々ながらも従うことで結果としてその人のためになるありがたい諫言(かんげん)です。

要するに、苦言を呈してもらえるだけ期待されているという証なのです。期待の余地が全くなければ、苦言を呈するだけ徒労に終わってしまいます。つまりあくまで期待に応えてほしいためにするのであって、憎くて辛く当たっているわけではないのです。

しかしここで良く誤解されるのが、苦言を苦情といっしょにされることです。そのため、苦言であるのにただのクレームと思われることです。

苦情は文字通りクレームであるため、債務不履行を指摘しているだけです。一方、苦言は、「悪い点は改めてさらに成長してほしい」という親心に似た愛情があります。もちろん「クレームは宝の山」というように、一部のクレームには愛情に裏打ちされた指摘もありますが、それは受け取る側が感じるだけで、指摘する側はきちんと債務を履行してほしいだけです。愛情に似た指摘は副産物に過ぎません。

苦情はゼロを目指すべきですが、苦言はあえて受け入れ成長に糧にすれば、これほど効果的な薬はありません。先ほども言いましたが、「良薬は口に苦し」です。しかしその苦さが自己を鍛え磨いてくれるのです。

助言は決して結論まで言わないこと

人様から助言をいただくことに対して本当に感謝いたします。しかし助言は、自分で考える余地を残したヒントに留めておいていただき、決して結論まで言わないでほしいです。

なぜなら自分で考えて結論を出す能力が徐々に失われるからです。何でもネットで調べ、さらに生成 AI も利用して答えを出しても、その答えに対して、想定外の質問をされれば自分では答えることが出来なくなってしまうからです。

助言の「助」は補助の「助」であって、答えそのものであってはならないものです。むしろ答えを教えてもらうことが目的なら、助言自体をしてあげないほうが本人のためになると思います。

しかし、ゼロから 1 を生み出すことは、非常に難しいとされています。その 1 がヒント、つまり助言なのです。この 1 さえ手に入れることができれば、それを元手に 2、3、5、10……と増やしていくことが可能になります。

その際、増やすのは助言を得た本人であって、しかも自分の頭で考えた答えをもって増やさなければ意味がありません。それでも、ゼロから 1 を生み出す苦労に比べれば、1 から 2、3、5、10……と増やしていくほうが楽であり、同時に自分も磨かれるのです。

急に 1 という助言をいただいても、普段から何の努力もしていなければ、助言という宝石が石ころに見えるだけです。苦言と助言は、ビジネスの上で何物にも勝る宝です。しかし「玉磨かざれば光なし」と言われるように、いつでも磨き上げられる体制だけは整えておきましょう。

『Air 鉋』は空気の魔法！

まずは、「百聞は一見に如かず」です。下の写真の施工例をごらんください。



これは、2025 年 1 月 17 日に、埼玉県神社庁で実施された躍進が誇る『Air 鉋』の施工実績（施工前、施工後）です。**左写真が木板表札、中写真が玄関天上、右写真が玄関引き扉**です。もちろん汚れている方がビフォーで、きれいな方がアフターです。

『Air 鉋』の最大の特長は、**水を使わずに神社仏閣の美しさを取り戻すことができる**ことです。これは、空気と植物性粉体を対象物に噴射し汚れや劣化層、古くなった既存の塗膜を数ミクロン単位で削り取るなどを施し、美観の再生や木材の長寿命化を目的として開発された乾式工法です（特許第 6206898 号）。

植物性粉体の種類や圧力を変化させることで「払う」「削る」「剥ぐ」「粗す」の 4 役を 1 台で行うことができます。

「払う」は、垢や汚れを刷毛のように優しく払うことができます。強弱は無段階に調整ができるため、繊細さを要する彫刻や重要文化財にも採用されています。

「削る」は、木材の表面を数ミクロンから数センチまで削ることができます。劣化層やカビ・木材腐朽菌の除去、浮造り加工などの意匠性に対応できます。

「剥ぐ」は、基材を痛めることなく既存の劣化塗膜を剥離できます。複雑な形状でも短時間できれいに剥離が可能です。

「粗す」は、水性塗料による塗装の付着強度を高めるための、木材の表面を粗すなどの下地処理（足付け作業）が行えます。

神社仏閣は、一般の木造住宅のように 25～50 年で建て替えるわけではなく、何百年も持たせることを前提とし建物自体に魂を込めていくのです。もちろん見た目は劣化しますが、『Air 鉋』を用い表面処理を施すことで新築時の良さを 100%再現できるのです。

『Air 鉋』は空気の魔法と言っても過言ではありません。**詳細は、躍進のホームページをご覧ください** (https://yakushin.jp/air_kanna/)。ご連絡をお待ちしております。

躍進が考える **企業の危機管理 ⑤**

笠井輝夫
(株)躍進代表取締役会長

希少性と早さと実効性

経営資源に対する危機管理連載 5 回目の今回は、情報をテーマといたします。そして、情報は希少性と早さと実効性が要です。つまり、既に誰でも知っており、あまり役に立たない情報は、経営資源としては落第なのです。

誰でも知っている情報は無価値

現在でも変わらないと思いますが、私が若いころからビジネスマンの誰もが日本経済新聞（以下、日経とします）を読んでいた。そのため、得意気になってその掲載内容を話そうものなら、「それ、日経に載っていたじゃないか」と一蹴されるほど、周知の事実でした。

みんなが知っている情報では役に立ちません、やはり役立てられるのは、新聞に一次情報として掲載される前に掴んで、素早く事業化の準備を終えている企業だけです。後述しますが、それは足と組み合わせと偶然性のなせる業と言っても過言ではないでしょう。

最近ではネットの情報が、誰にでも見ることができます。これは日経の掲載記事の認知度どころではありません。日経は有料ですが、ネットにあふれている情報は実質無料で、子供でも知っているものがたくさんあるのです。

そんな情報をどう料理したらビジネスに役立つのでしょうか。柳の下の泥鰌（どじょう）ではありませんが、ネットを閲覧した時点で“2 匹目”などはいないものです。これもまた皆に知られる前に情報を掴んで事業化の準備を終えている企業しか成果を得られません。

やはり、足と組み合わせと偶然性をうまく利用できる人しか情報活用できないのです。その具体的な方法は以下の通りです。

まず足というのは、言うまでもなく人と会うことです。もうコロナ禍云々の時期は終わっております。力のある方に会うことで、直接のやり取りを通じて、その人しか持っていない情報を直に引き出すしかないのです。これは情報分析力だけでなく接待術を含め、良くも悪くもコミュニケーション能力が問われるものです。

誰にも知られず情報を得たら、それが法的に拘束力をかけられるものであれば、特許や著作権などを申請するのは実に有効な手段です。

また、特許や著作権など必要としないものでも、いま一番流行しているものを真っ先に商品・サービス化すれば、ブランド化が可能となります。

組み合わせが奏功する

街を歩いていると、未だに手描きの張り紙やポスターを目にすることがあると思います。しかしそれをよく読んでみると、自分がまったく気付いていなかった内容の商品・サービスだったり、意外な有効性が書かれてあったりするものです。

もちろんそれをそのまま真似すれば二番煎じに過ぎませんが、これまで蓄積してきた知識やデータと組み合わせることで、思いもかけないアイデアがひらめくものです。

手描きの張り紙やポスターの多くは、単独店の宣伝や町内の掲示板に用いるものです。躍進でも手描きの立て看板を利用しています。それはその組織独自の情報に溢れております。これは前述のように街を歩いていなければ、偶然に拾い上げることはほぼ不可能です。

「これだ！」と思ったらすぐ動く

そして、これまで蓄積してきた知識やデータなどと組み合わせるには、あえて偶然を用いるほうが良い場合があります。

住宅業界では、ある医師が書いた体温と免疫力の関連性の本に偶然出会うことで、室内の温度を上げることが、体温も上げ免疫力もアップさせて健康住宅になったのです。これが高断熱高気密住宅の元を生み出しました。まさに情報の組み合わせとしては好例と言って良いでしょう。

まずは「これだ！」と直感した瞬間に、その日のうちにアウトラインを描き、翌日には社内の幹部や実務者と情報共有し、まずは売り先の確保の検討をしましょう。いくら良い商品・サービスでも、作っただけでは売れないからです。皆様もこうした手法で情報を生かし、社業のより良い発展を実現してください！

大掃除を考える 住宅コラム

年末は大掃除のシーズンです。中でもキッチン周りのお掃除が一番手間がかかり鬱陶しくなるといってお話を聞きます。ある建材メーカーの調査によると、そんなキッチン周りのお掃除でも特に面倒くささを感じるのが、レンジフードを含む換気扇です。

理由は言うまでもなく、ただでさえしつこい油汚れが細かい隙間にまで入り込んでいるため、たとえ強力な専用洗剤を使っているとしても、予想以上の手間がかかるものです。

そこで最近では、本格的な大掃除を夏休みに行い、年末は軽く汚れをとる程度で済ませるご家庭も増えてきているといえます。その理由は冬場の気温にあります。

大掃除はどのような部分を掃除する場合でも、大量の水を使います。いくら温水を使っていたとしても、夏場の水仕事に比べれば比較にならないほど辛いものです。おまけにレンジフードを含む換気扇にこびりついた油汚れは、気温の低さが原因して固くこびりついてしまうからです。それを考えると確かに夏場は大掃除をするのは合理的かもしれません。

レンジフードを含む換気扇にはシートタイプだけでなく、スプレー式で、噴霧すると防油シートに変わるものもあり、それを剥がして新しいものを装着すれば掃除はラクです。

しかし網戸などは、汚れがあまりにも頑固な場合、お庭やお風呂場でシャワーによる水洗いが必要となり、やはり寒い年末には堪（こた）えるものです。またコンロの五徳にこびりついたコゲもワイヤーブラシで落とさなければならず非常に厄介です。

同様に排水口の掃除もヘドロと臭いに悩まされ閉口してしまいがちですが、躍進では排水口は言うに及ばず排水管洗浄も実施しております。この時季にはご依頼、ご相談が殺到しますが、やはりお施主様にはスッキリとしたお気持ちで新年を迎えていただきたいので、全力で対応しております。

工務店様、ビルダー様におきましては、油を約 90%捕集するレンジフードや、丸洗いが可能な排水口付きシンクなど、大掃除だけでなく、日常の清掃負担を軽くするキッチン周辺用品もお施主様に提案してください。

<p>株式会社 躍進</p> <p>本 社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 ☎048-688-3388 ☎048-680-7615</p> <p>東 京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542</p> <p>URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com</p>	<p>関連会社 不動産事業 株式会社 ヤクシンジャパン</p> <p>関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ</p>	<p>事業内容</p> <p>防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、 ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、 ピンニング、シングル葺き</p> <p>木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除 及び予防、調湿剤、床下換気 等</p> <p>塗装工事：各種塗装</p> <p>外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、 外壁 等診断</p>
--	---	---